

野田市水道事業運営審議会次第

日時 令和5年8月8日（火）

午後1時30分から

場所 野田市水道部お客様センター2階会議室

1. 開会のことば

2. 水道事業管理者挨拶

3. 議題

(1) 令和4年度野田市水道事業会計決算概要について

(2) 「未来構想 水道ビジョン野田（経営戦略）」の進捗状況について

4. 閉会のことば

令和4年度

野田市水道事業会計決算概要書

野田市水道部

事業収入に関する事項

(単位：円、%)

科 目	令和4年度	令和3年度	比 較	
			増 減	対前年度比
営業収益	2,437,056,155	2,660,741,950	△ 223,685,795	91.6
給水収益	2,351,937,800	2,588,037,375	△ 236,099,575	90.9
受託工事収益	5,720,000	5,883,900	△ 163,900	97.2
他会計負担金	10,210,000	6,070,000	4,140,000	168.2
その他営業収益	69,188,355	60,750,675	8,437,680	113.9
営業外収益	843,865,866	609,357,395	234,508,471	138.5
給水申込納付金	245,158,000	229,761,000	15,397,000	106.7
他会計補助金	430,335,950	212,560,260	217,775,690	202.5
長期前受金戻入	164,666,714	166,150,612	△ 1,483,898	99.1
雑収益	3,705,202	885,523	2,819,679	418.4
合 計	3,280,922,021	3,270,099,345	10,822,676	100.3

金額は、消費税及び地方消費税抜きとなっています。

事業費用に関する事項

(単位：円、%)

科 目	令和4年度	令和3年度	比 較	
			増 減	対前年度比
営業費用	2,740,416,002	2,671,380,454	69,035,548	102.6
原水及び浄水費	1,249,812,260	1,223,663,906	26,148,354	102.1
配水及び給水費	191,607,911	172,990,995	18,616,916	110.8
受託工事費	5,200,000	5,349,000	△ 149,000	97.2
業務費	165,987,578	149,204,616	16,782,962	111.2
総係費	134,355,444	137,353,722	△ 2,998,278	97.8
減価償却費	974,516,516	959,590,289	14,926,227	101.6
資産減耗費	18,936,293	23,227,926	△ 4,291,633	81.5
営業外費用	26,498,408	38,524,608	△ 12,026,200	68.8
支払利息及び 企業債取扱諸費	26,359,747	38,431,567	△ 12,071,820	68.6
雑支出	138,661	93,041	45,620	149.0
特別損失	0	28,645	△ 28,645	皆減
過年度損益修正損	0	28,645	△ 28,645	皆減
合 計	2,766,914,410	2,709,933,707	56,980,703	102.1

金額は、消費税及び地方消費税抜きとなっています。

資本的収入に関する事項

(単位：円、%)

科 目	令和４年度	令和３年度	比 較	
			増 減	対前年度比
工事寄附負担金	477,600	0	477,600	皆増
工事寄附負担金	477,600	0	477,600	皆増
他会計負担金	7,599,000	4,240,000	3,359,000	179.2
他会計負担金	7,599,000	4,240,000	3,359,000	179.2
合 計	8,076,600	4,240,000	3,836,600	190.5

金額は、消費税及び地方消費税抜きとなっています。

資本的支出に関する事項

(単位：円、%)

科 目	令和４年度	令和３年度	比 較	
			増 減	対前年度比
建設改良費	480,649,350	714,859,999	△ 234,210,649	67.2
水道施設費	477,669,700	712,416,554	△ 234,746,854	67.0
水道メーター費	2,979,650	2,443,445	536,205	121.9
拡張事業費	189,687,777	283,427,421	△ 93,739,644	66.9
水道施設費	129,319,100	215,539,700	△ 86,220,600	60.0
事務費	60,368,677	67,887,721	△ 7,519,044	88.9
資産取得費	3,021,784	6,686,991	△ 3,665,207	45.2
固定資産購入費	3,021,784	6,686,991	△ 3,665,207	45.2
企業債償還金	320,057,385	316,363,967	3,693,418	101.2
企業債償還金	320,057,385	316,363,967	3,693,418	101.2
合 計	993,416,296	1,321,338,378	△ 327,922,082	75.2

金額は、消費税及び地方消費税抜きとなっています。

企業債の概況

(単位：円)

種 類	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
政 府 債	768,087,431	0	274,496,356	493,591,075
機 構 債	120,018,576	0	45,561,029	74,457,547
合 計	888,106,007		320,057,385	568,048,622

令和４年度 野田市水道事業損益計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	2,351,937,800		
	(2) 受託工事収益	5,720,000		
	(3) 他会計負担金	10,210,000		
	(4) その他営業収益	<u>69,188,355</u>	2,437,056,155	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	1,249,812,260		
	(2) 配水及び給水費	191,607,911		
	(3) 受託工事費	5,200,000		
	(4) 業務費	165,987,578		
	(5) 総係費	134,355,444		
	(6) 減価償却費	974,516,516		
	(7) 資産減耗費	<u>18,936,293</u>	<u>2,740,416,002</u>	
	営業損失			303,359,847
3	営業外収益			
	(1) 給水申込納付金	245,158,000		
	(2) 他会計補助金	430,335,950		
	(3) 長期前受金戻入	164,666,714		
	(4) 雑収益	<u>3,705,202</u>	843,865,866	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	26,359,747		
	(2) 雑支出	<u>138,661</u>	<u>26,498,408</u>	<u>817,367,458</u>
	経常利益			514,007,611
	当年度純利益			514,007,611
	前年度繰越利益剰余金			0
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>320,057,385</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>834,064,996</u></u>

令和４年度 野田市水道事業剰余金処分計算書

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	20,077,869,877	454,626,002	834,064,996
野田市水道事業の設置等に関する条例 第４条による処分額	484,724,099	0	△ 834,064,996
資本金への組入（積立金の取崩し）	320,057,385	0	△ 320,057,385
資本金への組入（長期前受金収益化）	164,666,714	0	△ 164,666,714
減債積立金の積立	0	0	△ 152,697,822
建設改良積立金の積立	0	0	△ 196,643,075
処分後残高	20,562,593,976	454,626,002	(繰越利益剰余金) 0

令和4年度 野田市水道事業貸借対照表
(令和5年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		1,638,829,131	
ロ 建 物	2,565,098,162		
減価償却累計額	<u>△ 1,522,558,920</u>	1,042,539,242	
ハ 構 築 物	35,012,180,976		
減価償却累計額	<u>△ 18,963,655,276</u>	16,048,525,700	
ニ 機械及び装置	8,116,052,127		
減価償却累計額	<u>△ 5,531,042,817</u>	2,585,009,310	
ホ 車両運搬具	48,749,007		
減価償却累計額	<u>△ 33,379,129</u>	15,369,878	
ヘ 工具、器具及び備品	72,392,817		
減価償却累計額	<u>△ 55,579,993</u>	16,812,824	
ト 建設仮勘定		<u>180,319,000</u>	
有形固定資産合計			21,527,405,085

(2) 無形固定資産

イ 電話加入権		1,390,360	
ロ その他無形固定資産		<u>1,578,000</u>	
無形固定資産合計			2,968,360

(3) 投資その他の資産

イ 出 資 金		<u>1,150,000</u>	
投資その他の資産合計			<u>1,150,000</u>
固定資産合計			21,531,523,445

2 流動資産

(1) 現金・預金		5,403,365,689	
(2) 未 収 金	255,806,497		
未収金貸倒引当金	<u>△ 2,118,919</u>	253,687,578	
(3) 貯 蔵 品		<u>7,455,443</u>	
流動資産合計			<u>5,664,508,710</u>
資産合計			<u><u>27,196,032,155</u></u>

(単位：円)

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

362,088,623

企業債合計

362,088,623

(2) 引当金

イ 退職給付引当金

211,566,271

引当金合計

211,566,271

固定負債合計

573,654,894

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

205,959,999

企業債合計

205,959,999

(2) 未払金

166,826,611

(3) 引当金

イ 賞与引当金

18,542,723

ロ 修繕引当金

61,526

引当金合計

18,604,249

(4) その他流動負債

イ 下水道預り金

159,970,224

ロ 預り諸税等

991,512

ハ 預り保証金

2,400,000

ニ 過誤納預り金

705,290

その他流動負債合計

164,067,026

流動負債合計

555,457,885

5 繰延収益

(1) 長期前受金

イ 補助金

1,529,522,631

ロ 他会計負担金

643,438,905

ハ 受贈財産評価額

4,751,092,003

ニ 工事寄附負担金

3,159,556,434

ホ その他長期前受金

17,531,875

長期前受金合計

10,101,141,848

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 6,484,015,890

繰延収益合計

3,617,125,958

負債合計

4,746,238,737

資 本 の 部

6	資本金			20,077,869,877
7	剰余金			
	(1) 資本剰余金			
	イ 補助金	31,257,516		
	ロ 他会計負担金	70,200,476		
	ハ 受贈財産評価額	275,615,943		
	ニ 工事寄附負担金	73,788,331		
	ホ その他資本剰余金	<u>3,763,736</u>		
	資本剰余金合計		454,626,002	
	(2) 利益剰余金			
	イ 減債積立金	220,175,678		
	ロ 利益積立金	530,000,000		
	ハ 建設改良積立金	333,056,865		
	ニ 当年度未処分利益剰余金	<u>834,064,996</u>		
	利益剰余金合計		<u>1,917,297,539</u>	
	剰余金合計			2,371,923,541
	資本合計			<u>22,449,793,418</u>
	負債資本合計			<u><u>27,196,032,155</u></u>

業務量

区 分		単位	令和4年度	令和3年度	比 較	
					増 減	対前年度比
給 水 人 口 等	行政区域内人口	人	153,600	153,529	71	100.0
	計画給水人口	人	165,230	165,230	0	100.0
	給水人口	人	149,071	149,391	△ 320	99.8
	給水件数	件	62,926	62,126	800	101.3
	普及率	行政区域内人口比	% 97.1	97.3	△ 0.2	—
		計画給水人口比	% 90.2	90.4	△ 0.2	—
給 水 量	年間給水量	m ³	15,137,884	15,173,465	△ 35,581	99.8
	一日最大給水量	m ³	45,537	45,284	253	100.6
	一日平均給水量	m ³	41,474	41,571	△ 97	99.8
	一人一日最大給水量	ℓ	305	303	2	100.7
	一人一日平均給水量	ℓ	278	278	0	100.0
有 収 水 量	年間有収水量	m ³	14,385,660	14,568,905	△ 183,245	98.7
	家庭用	m ³	11,823,531	12,009,746	△ 186,215	98.4
	工場用	m ³	594,767	605,446	△ 10,679	98.2
	その他	m ³	1,967,362	1,953,713	13,649	100.7
	有収率	%	95.0	96.0	△ 1.0	—

工 事

(1) 拡張工事の概況 (1件1,000万円以上)

(単位:円)

工 事 名	金 額	着工年月日	竣工年月日	施 工 内 容
宮崎配水管布設工事	73,624,100	R4.9.2	R5.3.20	宮崎180～鶴奉7番地先 工事延長760.33m HPPE口径100mm 仕切弁5基 空気弁1基

(2) 建設改良工事の概況 (1件1,000万円以上)

(単位:円)

工 事 名	金 額	着工年月日	竣工年月日	施 工 内 容
中根配水場 監視制御盤内機器更新工事	23,100,000	R3.5.29	R4.6.30	中根324番地 コントローラ盤(2)・コントローラ盤機能増設 監視制御盤(ミニグラフィック)機能増設
今上配水管布設替工事	105,628,600	R4.4.29	R5.1.31	上花輪217～今上2325番地先 工事延長872.08m GX口径75mm～150mm SUS口径150mm 仕切弁8基 消火栓1基 空気弁2基
上花輪新町配水管布設替工事	40,022,400	R4.4.29	R4.10.17	上花輪新町2～同3番地先 工事延長387.30m HPPE口径75mm 仕切弁3基
東金野井浄水場 後次垂注入設備更新工事	22,440,000	R4.4.29	R5.3.9	東金野井850番地の1 後次垂注入機(ポンプ2台内蔵) 次垂貯留槽(1階 4.0m ³)・超音波液面計
東金野井浄水場 監視カメラ更新工事	48,400,000	R4.4.29	R4.12.13	東金野井850番地の1 カメラ制御盤・監視装置・屋外カメラ・屋内カメラ
桐ヶ作配水場 遠方監視制御装置更新工事	97,900,000	R4.4.29	施工中	桐ヶ作1266番地1 LCD監視装置・PI/O盤・既設情報処理装置機能増設 既設監視装置機能増設
春日町・岩名仕切弁設置工事	20,900,000	R4.5.31	R4.8.18	春日町・岩名地先 仕切弁18基
桐ヶ作配水場 電気設備更新工事	218,020,000	R4.6.30	施工中	桐ヶ作1266番地1 引込盤・受電盤・主変圧器盤・動力主幹盤・照明変圧器盤 インターフェイス盤・監視制御盤機能増設
木間ヶ瀬浄水場 No.7配水ポンプ更新工事	24,504,700	R4.6.30	R5.3.10	木間ヶ瀬2073番地 No.7配水ポンプ・No.7電動機・No.7電動吐出弁・No.7逆止弁
桐ヶ作配水場 No.3配水ポンプ更新工事	15,400,000	R4.6.30	R5.3.10	桐ヶ作1266番地1 No.3配水ポンプ・No.3電動機・No.3逆止弁
宮崎配水管布設替工事	35,530,000	R4.9.2	R5.1.31	宮崎127～同175番地先 工事延長347.91m HPPE口径50mm～75mm 仕切弁12基 消火栓1基
中根配水場 No.1配水ポンプ更新工事	45,650,000	R4.9.2	施工中	中根324番地 No.1配水ポンプ・No.1電動仕切弁・No.1逆止弁
東金野井浄水場 配水流量計更新工事	18,700,000	R4.9.2	R5.3.24	東金野井850番地の1 電磁流量計
中根配水管布設替工事	26,779,500	R4.12.21	R5.3.20	中根210～同216番地先 工事延長179.62m HPPE口径50mm～100mm 仕切弁9基
みずき一丁目配水管布設替工事	13,200,000	R5.1.26	R5.3.7	みずき一丁目地先 工事延長12.55m GX口径250mm 仕切弁1基

「未来構想 水道ビジョン 野田（経営戦略）」
の進捗状況

資料2

野田市水道部は、将来にわたり市民の皆様へ安全で安心な水道水を安定的に供給し、健全な水道事業運営を持続するため、「未来構想 水道ビジョン 野田（経営戦略）」を令和2年2月に作成しました。

令和4年度の実施状況は、実施済みが86件、上花輪浄水場の休止又は廃止に伴う計画変更等が9件、自家用井戸使用者への水道加入促進と水質管理研修の派遣見送りによる未実施が2件、水源水質の監視の一部実施が1件、令和4年度以外に実施予定が4件となっております。

今後も引き続き、事業の進捗状況を確認するとともに、事業の効果や必要性等を検証しながら、水道ビジョンに掲げられた事業を実施してまいります。

具体的な取組		安全27項目、持続50項目、強靱25項目		合計102項目		
評価	評価	○：実施済 86項目 ☆：計画変更 9項目 ×：未実施、事業中止 2項目 △：一部実施 1項目 ―：令和4年度以外に実施予定 4項目 合計：102項目				
		主要施策		具体的な取組		R4
安全	(1) 水質管理体制の強化	①	水源水質の監視	同水系流域の関係機関等との情報共有		△
安全	(1) 水質管理体制の強化	①	水源水質の監視	北千葉広域水道企業団との連絡体制の強化		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	②	水質検査の充実と強化	水質検査の充実		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	②	水質検査の充実と強化	水質検査協力体制の強化		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	②	水質検査の充実と強化	水質検査機器の整備		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	③	安全でおいしい水の供給持続	おいしい水づくり計画		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	④	トリハロメタン低減化対策	浄水処理用薬品の改善による江戸川原水の有機物除去率の向上		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	④	トリハロメタン低減化対策	中間塩素処理による塩素注入率の低減化		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	④	トリハロメタン低減化対策	トリハロメタン低減化の実施		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	④	トリハロメタン低減化対策	ドレン作業等によるトリハロメタンの低減化対策		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑤	水安全計画の適切な運用	水安全計画の運用		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑤	水安全計画の適切な運用	水安全計画の見直し		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑥	安全で良質な水質の確保	水道末端水質の管理		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑥	安全で良質な水質の確保	行き止まり管路の水質向上策の強化		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑥	安全で良質な水質の確保	計画的な洗管作業による水質向上策の強化		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑦	分かりやすい水質情報の提供	水質検査計画の策定と公表、水質検査結果の公表		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑧	給水装置工事施行基準の周知徹底	野田市給水装置工事施行基準に基づいた施工業者への指導		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑧	給水装置工事施行基準の周知徹底	指定給水装置工事事業者に対する定期的な研修会の開催		○
安全	(1) 水質管理体制の強化	⑧	給水装置工事施行基準の周知徹底	指定給水装置工事事業者の登録情報の提供		○
安全	(2) 適切な水源保全の推進	⑨	受水量割合増加の検討	北千葉受水量増量の検討		○
安全	(2) 適切な水源保全の推進	⑨	受水量割合増加の検討	上花輪浄水場の休止又は廃止時期の検討		☆
安全	(3) 安全対策の強化	⑩	セキュリティ対策の充実など	各種情報を中根配水場で一元管理		☆
安全	(3) 安全対策の強化	⑩	セキュリティ対策の充実など	セキュリティ管理の強化		―
安全	(3) 安全対策の強化	⑩	セキュリティ対策の充実など	運転管理の迅速化		☆
安全	(4) 小規模貯水槽水道の適正管理と直結給水方式の普及	⑪	小規模貯水槽水道の適正管理	設置者や管理責任者への指導・助言の徹底		☆

26	安全	(4) 小規模貯水槽水道の適正管理と直結給水方式の普及	⑫ 直結給水方式の普及、PR	直結給水方式への取組	○
27	安全	(4) 小規模貯水槽水道の適正管理と直結給水方式の普及	⑫ 直結給水方式の普及、PR	直結給水方式のPR	○
28	持続	(1) 短期推進計画による安定経営の推進	① 財政計画を機能強化した短期推進計画の策定	短期マネジメント計画の作成	○
29	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	② 水道料金の継続的な検証	基本料金及び従量料金の検討	○
30	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	③ 漏水防止対策と有収率の向上	効果的な漏水調査の実施	○
31	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	③ 漏水防止対策と有収率の向上	老朽管布設替事業の推進による漏水防止対策	○
32	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	④ 未普及地域の解消と普及率の向上	水道接続促進の強化	○
33	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	④ 未普及地域の解消と普及率の向上	自家用井戸から水道への転換促進	×
34	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	④ 未普及地域の解消と普及率の向上	要望による配水管布設事業の継続実施	○
35	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	④ 未普及地域の解消と普及率の向上	要望による共同管布設事業の継続実施	○
36	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑤ 民間活力の推進	ワンストップサービスの検討	○
37	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑤ 民間活力の推進	デザインビルド方式の検討	○
38	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑥ 適正な資産管理	施設情報の電子データ化による資産管理の効率化	○
39	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑥ 適正な資産管理	アセットマネジメントの見直し及び施設整備計画の策定	○
40	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑥ 適正な資産管理	資産維持費に対する財源確保	○
41	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑦ 生活スタイルに合わせた給水形態の実現	1 宅地に複数の給水管取り出しの周知	○
42	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑧ 水道事業運営の効率化等の推進に向けた調査・研究	スマートメーターに関する調査・研究	○
43	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑧ 水道事業運営の効率化等の推進に向けた調査・研究	効率性や経済性の高い新技術の調査・研究	○
44	持続	(2) 経営基盤の強化と業務の効率化	⑨ 資産の有効活用	広告事業の検討	○
45	持続	(3) 安定水源の確保	⑩ 安定水源の確保	既存井戸の掘り替え可否の検討	☆
46	持続	(3) 安定水源の確保	⑩ 安定水源の確保	新規井戸設置可否の検討	○
47	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	上花輪浄水場の休止又は廃止時期の検討（再掲 安全：主要施策⑨）	☆
48	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	配水池及び送配水設備等の整備	☆
49	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	上花輪浄水場の休止又は廃止による削減額の把握	☆
50	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	浄水・配水場の統廃合の検討	○
51	持続	(4) 水道施設の最適化	⑪ 浄水・配水場の統廃合等の検討	北千葉広域水道企業団用水受水地点の増加	—
52	持続	(4) 水道施設の最適化	⑫ 管路のループ化の促進	ループ化整備個所の優先順位の決定と整備促進	○
53	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	イベント型広報の充実	○
54	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	デジタルメディアによる各種情報発信の推進	○
55	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	紙媒体による広報の充実	○
56	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	災害時における情報発信力の強化	○
57	持続	(5) お客様サービスの充実	⑬ 広報活動の充実	積極的なPR活動の推進	○
58	持続	(5) お客様サービスの充実	⑭ 水道出前教室等の充実	出前教室等の充実	○
59	持続	(5) お客様サービスの充実	⑭ 水道出前教室等の充実	子供の作品コンクールの実施	○
60	持続	(5) お客様サービスの充実	⑮ お客様ニーズの把握	使用者モニター制度の検討	○

61	持続	(5) お客様サービスの充実	⑮ お客様ニーズの把握	アンケート調査の実施	○
62	持続	(5) お客様サービスの充実	⑮ お客様ニーズの把握	お客様が求めているサービス水準の把握	○
63	持続	(5) お客様サービスの充実	⑯ 幅広いサービスの推進	お客様サービスの向上	○
64	持続	(5) お客様サービスの充実	⑯ 幅広いサービスの推進	ワンストップサービスの検討（再掲 持続：主要施策⑤）	○
65	持続	(5) お客様サービスの充実	⑯ 幅広いサービスの推進	お客様センターとの連携の強化	○
66	持続	(6) お客様の利便性向上	⑰ 水道料金収納業務の効率化	口座振替、クレジットカード払い、LINE Payの利用拡大の普及促進	○
67	持続	(6) お客様の利便性向上	⑰ 水道料金収納業務の効率化	多様な納付方法の検討	○
68	持続	(6) お客様の利便性向上	⑱ インターネットによる各種申請・手続等の推進	開栓、閉栓、名義変更等の手続サービスの充実	○
69	持続	(6) お客様の利便性向上	⑱ インターネットによる各種申請・手続等の推進	使用水量、使用料金、契約内容等の閲覧サービスの検討	○
70	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑲ 職員研修等の充実	各種講習会への積極的参加	○
71	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑲ 職員研修等の充実	水質管理研修の実施	×
72	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑲ 職員研修等の充実	人材育成と知識、技術の継承	○
73	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑳ 組織体制の確立	目的を明確にした成果主導型の組織体制の構築	○
74	持続	(7) 人材育成と技術力の強化	⑳ 組織体制の確立	職員定数、組織体制の検討	○
75	持続	(8) 環境に配慮した事業運営	㉑ 高効率型設備等の導入	中根管理棟等の照明のＬＥＤ化の実施	—
76	持続	(8) 環境に配慮した事業運営	㉑ 高効率型設備等の導入	省エネ型設備・機器の導入促進	○
77	持続	(8) 環境に配慮した事業運営	㉒ 低公害車・低燃費自動車の導入	公用車への電気自動車、ハイブリッド車等の導入促進	○
78	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	① 更新基準年数の設定	使用可能年数による各設備機器の更新基準の設定	○
79	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	① 更新基準年数の設定	使用可能年数による管路の更新基準の設定	○
80	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	② レベル別修繕支弁基準の設定	状態監視保全による修繕基準の設定	○
81	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	③ 老朽管（配水支管）の計画的な更新	時間計画保全による計画的な更新の推進（再掲 持続：主要施策③）	○
82	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	④ 重要給水施設への専用給水ルートの整備	重要給水施設への耐震管による専用配水管の整備	○
83	強靱	(1) 水道施設の計画的な整備	⑤ 老朽設備の計画的な修繕・更新	予防保全による設備機器等の計画的な整備	○
84	強靱	(2) 基幹施設の耐震化	⑥ 浄水・配水施設の計画的な耐震化	配水池の耐震化	—
85	強靱	(2) 基幹施設の耐震化	⑥ 浄水・配水施設の計画的な耐震化	浄水・配水施設の耐震化	○
86	強靱	(2) 基幹施設の耐震化	⑦ 基幹管路の計画的な耐震化	導水管の耐震化	○
87	強靱	(3) 災害対策	⑧ リスク管理型の水管理	災害や事故などに伴う断水時の水配給バックアップ機能の充実	○
88	強靱	(4) 災害対策	⑧ リスク管理型の水管理	災害時などの非常事態時における水確保策の強化	☆
89	強靱	(5) 災害対策	⑧ リスク管理型の水管理	漏水などによる一時的断水時の給水対応	○
90	強靱	(6) 災害対策	⑧ リスク管理型の水管理	需要と供給の水需給バランスの総合的監視	○
91	強靱	(7) 災害対策	⑨ 危機管理体制の強化	危機管理マニュアルの見直し	○
92	強靱	(8) 災害対策	⑨ 危機管理体制の強化	事故・災害時の対応力の強化	○
93	強靱	(9) 災害対策	⑨ 危機管理体制の強化	給水車等を活用した応急給水訓練の実施	○
94	強靱	(10) 災害対策	⑨ 危機管理体制の強化	問合せ対応の強化	○
95	強靱	(11) 災害対策	⑩ 事故・災害時における復旧体制の強化	応急給水設備等の整備と充実	○

96	強靱	(12) 災害対策	⑩ 事故・災害時における復旧体制の強化	応急復旧資機材の確保	○
97	強靱	(13) 災害対策	⑪ 災害時における近隣事業体等との広域連携	職員に対する災害協定に基づく協力体制の再確認	○
98	強靱	(14) 災害対策	⑪ 災害時における近隣事業体等との広域連携	協力・応援協定の拡大の検討	○
99	強靱	(15) 災害対策	⑫ 防災に関する啓発の推進	災害時の備えに対するパンフレットの作成及び啓発	○
100	強靱	(16) 災害対策	⑬ 停電への対応の強化	自家発電設備の点検整備による機能維持	○
101	強靱	(4) 渇水対策の推進	⑭ 渇水への対応策の強化	渇水情報の迅速な入手	○
102	強靱	(4) 渇水対策の推進	⑭ 渇水への対応策の強化	節水協力依頼の徹底	○